

# オプション検査説明

癌は気づかないうちに進んでいる場合があります。そして癌にはいろいろな種類があります。それぞれの癌に特異的な物質（タンパク質や酵素など）が産生されます。血液中に放出された特異物質を腫瘍マーカーとして検査することができます。もともと腫瘍マーカーは、癌に対して手術や抗がん剤治療、放射線治療を行った時に、その効果の判定や癌再発の目安として使われています。ですので、腫瘍マーカーは「癌を早期にみつける検査」ではなく「癌の治療に使う検査」です。

もし腫瘍マーカーの検査を希望され、**検査結果が異常値であっても『癌であるとは限りません』**むしろ違う場合が多いです。また、腫瘍マーカーが**正常値であっても『癌でない』ことにもなりません**。腫瘍マーカーは癌が進行しないとなかなか陽性値にならない場合が多いです。腫瘍マーカーは、内視鏡検査や画像検査の補助的な検査になります。

現在のところ、早期に癌を見つけれる腫瘍マーカーは『PSA（前立腺がん）』です。

腫瘍マーカー	どんな検査でしょう。	注意点は。(癌以外では)
CEA（癌胎児性抗原）	主に大腸や胃癌、肝癌、胆道癌などの消化器系の腫瘍マーカーとして用いられています。	肺や乳がん、 <b>肝炎</b> 、 <b>肝硬変</b> などでも高値になることがあります。 <b>喫煙者</b> や高齢でも高値を示すことがあります。
CA19-9	主に <b>膵臓癌</b> 、 <b>胆嚢・胆管癌</b> など消化器系の腫瘍マーカーとして用いられます。	消化器癌（胃、大腸、肝臓）、婦人科腫瘍（卵巣、子宮内膜）、良性的膵胆管系疾患、良性的婦人科疾患、呼吸器疾患、 <b>糖尿病</b> でも高値を示すことがあります。
AFP	主に <b>肝臓癌</b> の腫瘍マーカーとして用いられています。	肝炎や肝硬変でも高値を示すことがあります。
PSA	主に <b>前立腺癌</b> の腫瘍マーカーとして用いられています。	他の腫瘍マーカーと比べて、癌の初期でも高い陽性率を示します。 <b>（早期癌を見つけれます）</b> <b>前立腺肥大</b> 、 <b>前立腺炎</b> 、 <b>尿閉</b> での高値の場合があります。
CA125	主に <b>卵巣</b> や <b>子宮</b> などの婦人科系の腫瘍マーカーとして用いられています。	子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣嚢腫などでも高値に出る場合があります。
シフラ	主に <b>肺癌（扁平上皮癌）</b> の腫瘍マーカーとして用いられています。	乳癌、卵巣癌でも高値を示すことがあります。肺癌でも小細胞癌由来の癌では正常になります。
CA15-3	主に <b>乳癌の再発の予知</b> や <b>治療効果の判定</b> に用いられています。	原発性より <b>移転性</b> 、 <b>進行性</b> の乳癌で陽性率が高いです。卵巣癌など他の癌でも陽性になる場合があります。

## 甲状腺機能検査

血液で甲状腺ホルモンを測定して甲状腺機能を評価します。甲状腺ホルモンが過剰に分泌されると甲状腺機能亢進症（バセドウ病）になります。「いつもなんだか調子が悪い」・夜何回も目が覚める・体重の急激な増減・動悸・発汗・倦怠感・首の前の腫れがあるような症状の方におすすめです。

## 抗核抗体

発熱・腹痛・下痢・倦怠感・湿疹・しびれ・関節痛などの症状が1か月以上続いている方や、将来、膠原病を心配している方におすすめです。

## アレルギー検査

動物に触れた時、草が生える季節、？を食べたあとに蕁麻疹が出たり、目がかゆくなったり、鼻水やくしゃみが出たりなど、「アレルギーかな？」と思っている方におすすめです。原因を見つけましょう。